京城日日新聞　大正九年八月二十日　（大正九年七月一日第三種郵便物認可）　（一）

京城日日新聞

年中無休刊

社説

朝鮮の時局は

益々險惡化する一方也

當局者は如何なる對應策あるか

（下）

するに今日の朝鮮人の望む所は獨立に在り、獨立を與へざる以上は如何なる善政も如何なる仁政も彼等に滿足を與ふるを得ざるなり [illegible] 一般朝鮮人の意向を推測するに [illegible] 朝鮮民族の敵と呼び、賣國奴と罵るのみならず [illegible] 獨立運動に加擔せざる一般の人に [illegible]

[illegible] の方針と如何の決心とを有するか [illegible] を開かんとするものなり、此問題に對しては趣を改めて論ずることとにせん

殖民地概説（四）

拓殖局編

第四節　殖民地の法制

第三節　租税

朝鮮に於ける租税は [illegible] 地租、所得税、鑛業税、[illegible] 酒造税、[illegible] 印紙税及 [illegible] 其の概要を摘記すれば左の如し

一　地租　地租は田畑、垈地、池沼、雜種地に對し其の收穫即ち賃貸價格、地味の良否、水利運輸の便否等に依り等級を定めて之を賦課す

二　所得税　所得税は明治四十三年度より始めて法人の所得のみに對し之を賦課す

三　鑛業税　鑛業税は鑛區面積を標準として課するものとす

四　輸入税　輸入税に就ては明治四十四年七月現行關税定率法の施行に依り內地と全く同一の税率に依ること

五　噸税　噸税は外國貿易の爲外國より往來する船舶に對し其の噸數又は石高に依り課するものとす

六　製茶税　製茶税は製茶業者に對し製茶高に應じ課するものとす

七　酒造税　酒造税は酒類を五種に分ち所定の税率に依り課するものとす

八　砂糖消費税、骨牌税、織物消費税、石油消費税、印紙税及登錄税等あるも皆內地の税法を施行せるものにして殆ど內地と異る所なし

第三　雜税 [illegible]

一　戸數割　戸數割は內地府縣に於ける戸數割に該當するも其の課税方法は全く內地と異り各戸の收入又は所得を標準として賦課するものにして即ち所得税若くは收益税の性質を有せり

二　家屋税 [illegible]

以上三種の租税の外明治四十四年七月府令第十六號を以て船舶手數料規則を實施したるが此税は大正三年度限り撤廢せり

[illegible]

貴族院の權威

某樞密顧問官談

政府も脈を握られたやうだネ之れも何かと謂へば貴族院が特別議會に一致の態度を取ることが出來なかつた結果であらう [illegible] 貴族院は一つの質問を政府にするに就いても色々と協議し其の質問に權威あらしめたものである [illegible] 特別議會では速記錄の上から見ると大分矢鱈しく見えるが、實際問題には少しも觸れて居らぬから政府として [illegible] さへすれば夫れでよい [illegible] 一寸も心配する必要が無くなつた [illegible]

噂の裏面

[illegible]

上院各派

[illegible]

國友警務課長

一日一人（三十七）　ヒマラヤ山人

總督府警務局警務課長國友尚謙君は現在の警務局の幹部中では一番古い人である [illegible]

新刊紹介

○朝鮮公論（八月號）[illegible]

○自修の友（八月號）[illegible]

創作

逆流（十七）

森　漱波

[illegible]

第48호　1920. 8. 20.

米の再抗議來らん

米國政府は過般の日本政府の對露問題に關する對米回答に對し更に再通牒を日本に送る可しと信ぜらる該通牒の内容は極めて嚴密に附せられつゝあり（紐育來電）

綏衛國設立頓挫

ウェスタ××條約は衛國の統一を害するの恐れあり…極東綏衛國の成立は又復頓挫を來さむとす（倫敦來電）

ワルソー遂に陷落

ワルソーは愈々陷落せり（倫敦來電）

佛國首相の警告

佛國首相ミルラン氏はサンカンタンに於て演説し戰鬪は終了せり而して全然終了したりとは見るを得ず予は戰爭の戰禍の如何に大なるかを世間に吹聽せむと欲す予の斯く謂ふは第二の戰爭が勃發する恐れあることを認むるものなればなり（巴里來電）

更に強き手を要す

米陸軍卿の演説

陸軍卿ベーカー氏は加州民主黨大會に於て演説して曰く若し米國にして現時世界の諸問題に手を觸れんとせば強き手を持たざるべからず若し米國にして聯盟に加入せざれば米國は平和を維持するため引續き更に大なる海軍を建造し常に武器を改良し更に大なる豫備軍を組織せざるべからずと（桑港來電）

英勞働者示威運動

英國勞働者の露波問題に對する態度は倫敦にて開かれたる會議にて左記五項を決議し勞働の主義主張を攻撃し熱烈なる示威運動を爲せり（倫敦來電）

（一）何等の形式に依るも勞農政府に對して軍事的干渉を爲さゞること

（二）ウランゲル將軍を絶對に援助せざること

（三）英國艦隊を撤退せしむる事

（四）勞農政府を承認する事

（五）英露貿易を自由ならしむる事

勞農政府提出條項

勞農政府は休戰條項を決定す可きミンスク會議はヴェルサイユ條約の主義に基きて行はる可し右に關し勞農政府より提出せる和議條項は（一）聯合國にして露波講和會議に參加するならば獨逸も之に參加す可き事（二）ダンチッヒに於ける經濟地帶を除去する事（三）波蘭に併合されたる獨逸領に對しては經濟的民族自決主義を適用する事右三個條にして要するに勞農政府は主義としてヴェルサイユ條約に依頼す可きも東歐問題に關するヴェルサイユ條約の解決者は最早時效を失へるものと思惟しつゝあるものゝ如し（伯林來電）

尼港に獨立政府

尼港に於てサガレン州民政廳なる一獨立政府組織せられ議長にリュウリ氏其他議員の選舉あり該民政廳は紙幣を發行す可しと浦鹽來電

米獨共同航路經營

××新航局は米獨共同にて米獨間旅客貨物運輸航路を經營に決せる旨發表せり

張曹兩派暗鬪熾烈

張作霖、曹錕兩氏の歸京期近づくと共に兩派の間に益々地方督軍等の形勢は張氏の主張極めて鬪し然れど直隷派の要求を×××に對しつゝあり山東督軍には靳總理が田中玉氏を推薦せんとするも張作霖氏は張作相氏を又直隷派は王承斌氏を舉げむとし暗鬪頗る激し（北京來電）

李烈均湖北進擊

李烈均は二個旅團の兵を師ひて湖北に進擊せむとしつゝあり（緑營來電）

チエツク撤退完了

八月十八日出帆の米軍運送船「プレシデント、グラウンド」號にて……

敢て他意あるに非ず

撤兵理由回答

在西不逞鮮人調査

八府職業同盟會

英人優勝す

露支銀行内容

鮮銀株主總會

官等及俸給令

直隷借款問題

張氏結婚政略

張漢卿も晉京

露艦元山入港

東拓社債發行

教員講習會終了

京畿傭人規程

七軍外蒙潜入説

水野政務總監を訪ふ

不逞鮮人の取締も金問題だ　こんな事に氣を奪はれるのは馬鹿らし

日露開戰に備ふ

露國共産黨決議

名に隠れ

銀價漸次昂騰

漢江の洪水及治水策（一）

英米對立石油戰

政府後援の大石油會社案　大規模の

大阪便り

現時米國

鞍山電話開期

羅南軍司令部移轉

普通文官試驗

憲兵隊長出發

總督官邸午餐會

人事

風塵錄

經濟

綿布綿花

經濟株式

前週株式

上取軟弱

朝鮮銀行券

日銀報況

内地金利

京城手形交換

京取後場休會

京城市場出來値

仁川期米特電

東京期米特電

大阪期米特電

於京城公會堂本社主催講演會

慘虐なる赤軍の毒手を脱する迄

終始血と汗に彩られたる 大朝特派員中平氏苦心談（中）

私は愈々モスクワ脱出を決心し…

長途の鐵路をトボ〳〵辿つた

湖水に入りて水を呑めと

草の實を取り或は大根を噛り

林中に隠れて日没と共に

再び捕縛され民兵に護送

下關豪雨 被害頗る多し

工夫十六名溺死す 廢坑に浸水

米觀光團市内見物

家財も何も置放し 着のみ着の儘の齊多引揚邦人 當局の不親切に憤慨す

七百名で

愛想を盡かし斯んな調子

救濟問題の起つた譯

府内虎疫 防疫費十二萬圓

不景氣

龍山新患續發

再び虎疫騷ぎ 五百餘名の鮮衆押寄す

呼賣りは嚴禁 京管局防疫嚴重

コレラの天祭

兇賊二名逮捕さる 咫尺を辨ぜざる暗夜 銃器を振翳し抵抗す

拘川署内を荒せし

晝夜兼行

包圍ぜん

妻子を携

警戒巡査

猫（乎） 義太夫藝者 梅若

コレラ講座（三） 理論上では撲滅し易い

然し傳播力が强いから恐しい 鄕と共に蔓延する朝鮮人 池上要吉氏談

小魚の

刺戟物

朝鮮酒

觸接し

幾分安くなつた劳銀

救國團員檢擧

上海の同志と氣脈を通じ不穩文書を配布して居た

家宅侵入

持逃げ

竊盗未遂

鮮婆の礫死

京城四券番 十美人投票募集

▲投票される藝者 京城券。中券 新券。東券

▲投票方法 本紙刷込投票用紙に限 郵便ならば本社美人投票係へ 其他は各所備付の投票箱へ

▲投票締切 九月二十五日正午限り

▲發表方法 毎日正午迄の分を翌日の紙上に掲載し最高九月廿五日の締切は二十七日紙上に發表

▲賞品其他に關しては追て發表す

入眼でも眼をあいて居れば解らない。味噌歯でも口を閉ぢて居れば氣がつかない。隠し切れないものは猪鼻とちゞれ毛ばかりだ乞御注意

代議士に當選したとて豪い人とは限らず博士にも馬鹿が居る。令夫人の中にも淫婦の前身がある。十美人に當選したとて京城第一と自惚るな

運動界

仁川對滿鐵野球戰

▲三越對記者團

緞帳

照手姫 四十八

旭亭桃山口演

[illegible]

座敷へ出て貰へば、どの位の銭めになるか知れないけれど、御亭主を連れて來られては私の目算違ひ、併し所詮使つて來たものを斷る譯にも行くまい此の先の右側に表店で小さな家があるから其れへなりとお二人をお入れ申さう、マア此土地に居るのならば、此處へ[illegible]て居なさるが宜い」照「有難う存じます、左樣なれば御言葉に從ひ此のお家を拜借致し、暫らくの間御厄介に成り度う存じます」長「アヽ其處なれば何うせ空いて居るから入んなさるが好い食物は此方から運ばせやうから」照「何分宜しく御願ひ申ます」其れから大膳家に世帯を持ち助重は鯉と[illegible]をよく書きますので、[illegible]と他のものは書かず、鯉ばかりを人の求めに應じて書き、又書き溜たのは店に列べて往來の者に賣りも致します、此小栗の書きました物は火防ぎの奇驗があると申して、後世人の傳へ聲しく、現に京都北野の天滿宮にも小栗の書いた、鯉の額がございますさうです。

甲、照手姫が一子を擧げました、七夜に大六と命名しましたが、是れぞ後に小栗判官代となつたお方でございます、サア小兒は出來る何や彼やで、然し此の土地は動けません、只管此の育ちを樂しむ中に、月日の經つは早いもので、此の土地へ來て既に三年、時は永享の元年七月二十二日で、殘暑が嚴ろ甚だしい助重橋の端へ出ると俄にワーツンといふ人聲、手に手にちぎりなど持つて驅けて行く、助重「何事かへ表へ立出で」皆「皆さん何でございます」○「イヤ先生大變だ〱、溝が池へ今大蛇が出やがつたから大勢で追ひに行つた處が、奴め大きな口を開いて熱を吹掛けやがる、アノ熱を受けた日にやア堪らねえから逃げて來た、どうかマア殺して終はなけりやア土地の者が安心が出來ねえ、三年ばかり宜い塩梅に出なかつたが、今年また暴れ出しやアがつた」とワイ〱云ひながら驅けて行きました。



演藝案内

[illegible]

ナムバーワン

御三家三勇士

大正館

「クリスマスの朝」

「人間タンク」

赤垣源藏

壽館

八月九日初日午後六時開場

一 勸進い

二 三つ組の盃

三 生さぬ母 妻くらべ

[illegible]

朝鮮郵船

元山出帆

釜山出帆

仁川出帆

木浦出帆

[illegible]

朝鮮郵船會社

眞継雲山著 車窓

三六版箱入絹張美本ポケット型三百十四頁 本文ポイント活字總ルビ附定價金八拾五錢送料六錢

◎取次店 京城府太平通二丁目 振替京城五三三六番 **釜山日報京城代理部** 電話 三一五三番